



富士見市議会議員 関野かねたろうの 活動報告



平成 17 年秋号 No.21

ごあいさつ

元気に行動しています！

稲刈りを終えた水田に季節の移ろいを目にすることができます。今は今年の役割を終え、ひと時の休息をしているようです。

これからも、安全安心のまちづくり、住みよいまちづくりを目指して、市民の皆さんとともに休むことなく精一杯努力してまいりますので、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

9 月議会報告

9 月 6 日開会の平成 17 年度第 4 回定例会（9 月議会）は、9 月 28 日すべての審議を終え閉会いたしましたので報告いたします。

執行部より提出されたものは、議案 28 件、報告 4 件、諮問 1 件、それに請願が 3 件でした。請願 3 件を除きすべて原案通り可決しました。

～主な議案内容とその結果～

・水谷東安心安全ステーション助成金などの補正予算が可決

他に、木染橋の右岸にできる防災ステーションに出来る水防センターを拡張し、集会所機能を持たせる、ふじみ野小学校放課後児童クラブ増築、貝塚公園駐車場脇の市道 5112 号線の振動防止対策費などが盛り込まれています。

・16 年度の一般会計、特別会計などの決算認定の審議が行われました

一般会計、国保会計は共産党を除き認定としました。

私は会派を代表して、16 年度決算について未来展望という視点から、依存財源に頼らざるを得ない決算状況を踏まえ、今後一層の行政のスリム化を図って効率よい行政執行を要望して賛成の討論をしました。

・その他の議案

火葬場斎場への進入道路計画に基づく市道路線の廃止・認定が可決されました。

かねたろうの市政一般質問

今議会では、水谷東や水谷の地域の安心安全のまちづくり、効率的な行政実現のためのIT行政などについて市当局に伺いました。以下にその一部を掲載いたします。

*詳細は、私のホームページや富士見市ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

1. 水谷東地域の安全・安心のまちづくりについて

問：地域安心安全ステーション事業に市内におけるモデルとなるように継続的支援を

答：今後も引き続き水谷東小学校区住民と連携して、富士見市内の安心安全な地域づくりのモデルとなるよう取組んでいきたいと考えている。(庶務課)

問：前沼公園拡張を市民に利用しやすい公園として早期実現を。また、今後のタイムスケジュールは、

答：市民要望をできる限り活かせるように市民参加による公園づくりを進めていきたい。今後は県へ都市公園拡張の事前協議、併せて都市計画変更決定手続等が必要で、これら諸手続きを経て、18年度から協働の公園作りに着手していく。(公園緑地課)

問：水子大排水や別所掘りの水質改善への取り組みに傾斜土槽法(注)の検討を

答：提案の水質改善技術は今後の推移を見る必要がある。15年度から水谷の一部地域に公共下水道の整備が始まっており、徐々にではあるが水質が改善されていくと思慮する。(環境課)

注：汚水を傾斜した土槽の上を繰り返し通過させることによって浄化をする方法。四国電力が開発。

2. 水谷地域のまちづくりについて：リブレーヌ事業で水害地帯になるって本当？

問：リブレーヌ都市整備事業への当局の認識について一部で「事業により水田のほとんどを埋めれば、再び水谷東は水害地帯に逆戻りをしてしまう」という情報が流されているが、それは正しいのか？

答：治水安全性の向上と親水空間を取り入れた魅力的なまちづくりを目指すという基本構想に基づいて土地利用を計画している。事業予定地にできる河川調整池の機能としては、洪水調節用のダム貯水池同様下流に有効な洪水低減効果を持つものである。リブレーヌ事業としても周辺に被害が及ばないように調整池の整備に取り組んでいる。(都市計画課)

問：協議会からの提案を参考に水谷まちづくり事業の合意形成に向けた取組を。

答：協議会からイメージ図を提案していただいたので、更なる合意に向け協議会の意見、検討等を踏まえた計画素案の策定を進めているところである。(同上)

3. 頻発する地震への備えについて

問：木造住宅簡易耐震診断を実効的にするためにも建築士会等との連携を

答：既に数件の診断を行った。耐震改修が必要と思われる建物については、補強案を示しているが、簡易診断であるので専門家の診断や補強設計を進め、建築士会所属の建築士を紹介している。(建築課)

(言葉) 地域安心安全ステーションモデル事業: 消防庁が指定する事業。全国100箇所の一つに選ばれた。
リブレイズ都市整備事業: 水谷東に隣接する水田を開発する事業。

問: 市内公共施設のつり天井の振れ止め補強についての実態調査は

答: キラリ☆ふじみメインホール、中央図書館、ふじみ野小学校体育館及び給食センターが調査の対象になっている。途中経過であるが、部分的にゆれ止め補強が必要な建物もあった。(同上)

4. 富士見市の電子自治体実現に向けた取り組みについて

問: 8月1日から申し込みを開始した、各種メールマガジンサービスの反響は。また、発信状況は

答: 市役所が身近に感じられた、防犯意識が高まったなどの声があった。防災情報では台風については概ね20~30分で配信できた。防犯情報は発信依頼が翌日になる例が多い。メルマガふじみは月に一回配信していく。(広報課)

問: 日経パソコンのe-都市ランキングにおける評価から学ぶものは

答: 評価結果はその採点基準が明らかにされていないので、あくまで一つの参考指標と捉えるべきと考えている。(情報政策課)

問: いつでも、どこでも、何でも、誰でもネットワークにユニバーサルにつながるといふユビキタス社会実現に向けた取り組みにCIOによる情報政策の推進を

答: 当市ではH15年策定した、情報セキュリティポリシーにより助役を情報統括責任者: CIOとしている。提案のCIOを中心とした情報施策・戦略の展開は必要と認識している。情報施策・戦略の最終的な決断をCIOが行う体制作りを模索していきたい。(情報政策課)

問: 電子入札導入への進捗状況は。共同開発が進まないのであるなら、富士見市独自で始めたらどうか。

答: 県によると、10月から電子入札システムの本格稼動に入るとのことである。本市もそれにあわせながら運用の準備を進めたい。独自開発には高額のコストが見込まれ無理である。(管財課)

問: 当市では年間少なくとも約3億円の電子政策のランニングコストがかかっている。安定性は優れているがコストが高いといわれている大型コンピューターによるメインフレーム形式から、コストパフォーマンスに優れているWebと呼ばれるオープンシステムに移行している自治体も出てきているといわれているが。

答: 同レベルのサービス維持を前提として、より運用経費が安いシステムの切り替えの検討が必要との視点から、提案のオープンシステムについて現在情報収集をしているところである。18年末にリース期間が終了するので、具体的には19年度の見直しを大きな目標に切り替えの検討を進めていきたいと考えている。(情報政策課)

(言葉) CIO: 情報システムや情報の流通を統轄する役員。情報統轄責任者: Chief Information Officer
メールマガジン: 電子メールにより定期的に情報を届けるシステムのこと

市民の皆さんの声に応えます

ここで車をよけることができます！：皆さんの声が実現しました！



水谷東小学校や水谷中学校への通学路である用水路沿いの道路は狭く、交通規制のかかっていない下校時の危険が指摘されていました。

一般質問で取り上げたところ、夏休み中に歩行者の待避所を作っていただきました。

当面一箇所ですが、登下校の安全に役立たせていただきたいと思います。

Aさん（水谷東1丁目在住女性）他

要望：県道大井朝霞線一丁目地内の歩道の段差の修繕を

対応：転んで負傷したとの事で、直ちに電話で川越・県土整備事務所に連絡。至急の修理を要請する。

結果及び経過：即日に事務所が対処。事務所から業者に改善を要請。その後業者により段差解消の修繕がされ、付近の歩道のでこぼこも修繕された。

Bさん(水子在住男性)

要望：水子地内の信号のないT字路の一時停止の交通規制を

対応：道路改善により車両の通過がスムーズになった反面、そこに侵入する自転車等との接触の危険があることを確認。書面をもって交通課に要請。

結果及び経過：カーブミラー等の設置で対処しているとのこと。看板等で注意を喚起する。

お知らせ

・ホームページ4月よりリニューアルしました。ぜひご覧ください！

URL は<http://www.k-sekino.com> です。

・自宅（セキノ酒店）隣に「**市民相談所**」を開設しました。

どんなことでもお気軽にご利用ください。

・富士見市議会議員としての所属

会派：21・未来クラブ（代表） 常任委員会：建設環境常任委員会（委員長）

志木地区衛生組合議会議員（議会運営委員会委員）

★発行責任者：富士見市市議会議員 関野かねたろう

富士見市水谷東1-2-10 TEL049-255-0506 Fax049-255-0549